

現在、病理部では、バイオバンクご協力者からいただきました検体・診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下記の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身がバイオバンクに提供された検体・診療情報等を「この研究課題に対しては利用して欲しくない」と思われた場合には、バイオバンク事務局（末尾）にてそのお申し出を受け付けておりますので、ご参加時にお渡ししました協力意思（同意）の撤回書をバイオバンク事務局までご提出いただくか、もしくはバイオバンク事務局までその旨ご連絡下さい。

【研究課題名】「心内膜心筋生検組織を用い拡張型心筋症における炎症細胞浸潤の意義を検討する多施設レジストリ研究 - 2」

【研究対象者】

2012年1月～2020年7月までの期間に国立循環器病研究センターで重症心不全のため補助人工心臓が装着された18歳以上の方。

【利用している検体・診療情報等】

（検体）補助人工心臓留置手術時の心筋組織検体

（診療情報等）

検査所見：一般的検査所見（血圧、脈拍、胸部レントゲン、心電図、心臓超音波検査、心臓カテーテル検査、心臓MRI検査、PET検査、ガリウムシンチ検査、病理学的所見（補助人工心臓留置手術時検体、あれば事前に行われた心筋生検）、血液検査データ（白血球、白血球分画、ヘモグロビン、肝機能（総ビリルビン、AST、LDH）、ナトリウム、総コレステロール、腎機能（尿素窒素、クレアチニン、eGFR）、尿酸、炎症マーカー（CRP、血沈）、ヘモグロビンA1c、BNP、心筋傷害マーカー（CK、CK-MB、トロポニンT）、総蛋白、アルブミン、凝固検査（PT-INR）、HbA1c、自己抗体、ウイルス検査）

検体情報：採取日、凍結・保存方法、摘出後凍結までの処理と時間

転帰情報：生存・追跡不能の場合最終生存確認日（追跡不能の場合はその理由）とその時点での診断名、死亡された場合死亡日と死亡原因・死亡診断名（あれば病理解剖所見）、調査日直近あるいは最終の臨床データ：心不全分類、心エコー検査、心機能回復の有無、補助人工心臓離脱の有無、入院・外来の別、心移植待機の有無、心移植の有無、合併症（心不全再増悪、他の心血管疾患、致死性不整脈、新規デバイス植込、薬物治療、脳卒中の発症）、原疾患が急性心筋炎の場合以下の有無：治癒、再発、慢性化、拡張型心筋症への移行

【利用の目的】（遺伝子解析研究： 無 ）

重症心不全の病因の一つであるウイルス感染の有無の実態と病理所見、抗体による免疫応答を調べることで、病態を解明し新たな診断手法や治療法につなげることに。

【共同利用研究機関・共同利用研究者】

国立感染症研究所 感染病理部 部長 鈴木 忠樹

【利用期間】

【バイオバンクでの検体・診療情報等の取扱い】

バイオバンクでは、お預かりした検体や診療情報等には匿名化処理を行い、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できない形にしたうえで、センター倫理委員会の承認を受けた各研究課題に対して払い出しを行っております。バイオバンクでの取扱いの詳細をお知りになりたい方は、下記バイオバンク事務局までお問い合わせください。

【バイオバンク事務局】（応対可能時間：平日9時～16時）
電話：06-6170-1070（内線31050）、ファックス：06-6170-2179
Eメール：biobank-jimu@ml.ncvc.go.jp

バイオバンクを利用した研究用の情報公開文書

研究許可日より2032年3月31日まで（予定）

【研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者】

研究責任者：病理部 医長 大郷 恵子

研究内容の問い合わせ担当者：病理部 大郷 恵子

電話 06-6170-1070（代表）（内線 31222）（対応可能時間：平日 9 時～16 時）

【バイオバンクでの検体・診療情報等の取扱い】

バイオバンクでは、お預かりした検体や診療情報等には匿名化処理を行い、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できない形にしたうえで、センター倫理委員会の承認を受けた各研究課題に対して払い出しを行っております。バイオバンクでの取扱いの詳細をお知りになりたい方は、下記バイオバンク事務局までお問い合わせください。

【バイオバンク事務局】（対応可能時間：平日 9 時～16 時）

電話：06-6170-1070（内線 31050）、ファックス：06-6170-2179

Eメール：biobank-jimu@ml.ncvc.go.jp